



## 2020年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)

2020年5月14日

上場会社名 サイボー株式会社

上場取引所 東

コード番号 3123 URL <https://www.saibo.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 飯塚 剛司

問合せ先責任者 (役職名) 取締役財務部長 (氏名) 米澤 幸男

TEL 048-267-5151

定時株主総会開催予定日 2020年6月26日

配当支払開始予定日

2020年6月29日

有価証券報告書提出予定日 2020年6月26日

決算補足説明資料作成の有無 : 無

決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2020年3月期の連結業績(2019年4月1日～2020年3月31日)

#### (1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期	7,601	△9.9	716	—	711	—	△65	—
2019年3月期	8,438	1.5	△91	—	34	—	△79	—

(注) 包括利益 2020年3月期 △351百万円 (—%) 2019年3月期 △201百万円 (—%)

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり当期純利益	自己資本当期純利益率	総資産経常利益率	売上高営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2020年3月期	△4.94	—	△0.5	2.7	9.4
2019年3月期	△6.02	—	△0.6	0.1	△1.1

(参考) 持分法投資損益 2020年3月期 2百万円 2019年3月期 19百万円

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年3月期	27,351	15,582	49.6	1,027.39
2019年3月期	26,290	16,113	53.5	1,066.65

(参考) 自己資本 2020年3月期 13,561百万円 2019年3月期 14,066百万円

#### (3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー	投資活動によるキャッシュ・フロー	財務活動によるキャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2020年3月期	738	△3,443	2,480	1,557
2019年3月期	784	△578	△857	1,782

### 2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産配当 率(連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2019年3月期	—	7.00	—	7.00	14.00	182	—	1.3
2020年3月期	—	7.00	—	7.00	14.00	182	—	1.3
2021年3月期(予想)	—	7.00	—	7.00	14.00	—	—	—

### 3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日～2021年3月31日)

2021年3月期の連結業績予想につきましては、新型コロナウイルス感染症拡大の影響が多岐に渡り、現時点では適正かつ合理的な業績予想の算定が困難なことから未定としております。今後、適正かつ合理的な算定が可能となった時点で速やかに公表いたします。

※ 注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

新規 — 社 (社名) 、 除外 — 社 (社名)

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
 ② ①以外の会計方針の変更 : 無  
 ③ 会計上の見積りの変更 : 無  
 ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)  
 ② 期末自己株式数  
 ③ 期中平均株式数

2020年3月期	14,000,000 株	2019年3月期	14,000,000 株
2020年3月期	800,007 株	2019年3月期	812,007 株
2020年3月期	13,195,977 株	2019年3月期	13,186,185 株

(参考) 個別業績の概要

2020年3月期の個別業績(2019年4月1日～2020年3月31日)

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期	6,543	△10.6	635	—	637	—	△44	—
2019年3月期	7,320	1.1	△178	—	△149	—	△173	—

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期	△3.35	—
2019年3月期	△13.00	—

(2) 個別財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円		百万円		%		円 銭	
2020年3月期	23,187		10,881		46.9		814.90	
2019年3月期	22,311		11,364		50.9		851.72	

(参考) 自己資本 2020年3月期 10,875百万円 2019年3月期 11,356百万円

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

新型コロナウイルス感染症拡大の影響が多岐に渡り、現時点では適正かつ合理的な業績予想の算定が困難なことから未定としております。今後、適正かつ合理的な算定が可能となった時点で速やかに公表いたします。業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料4ページ「1.経営成績等の概況(4)今後の見通し」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当期の経営成績の概況 .....	2
(2) 当期の財政状態の概況 .....	3
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況 .....	3
(4) 今後の見通し .....	4
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方 .....	4
3. 連結財務諸表及び主な注記 .....	5
(1) 連結貸借対照表 .....	5
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書 .....	7
(3) 連結株主資本等変動計算書 .....	9
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書 .....	11
(5) 連結財務諸表に関する注記事項 .....	13
(継続企業の前提に関する注記) .....	13
(セグメント情報等) .....	13
(1株当たり情報) .....	16
(重要な後発事象) .....	16
4. その他 .....	17
役員の変動 .....	17

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度におけるわが国経済は、政府・日銀による経済政策を背景に、企業収益や雇用・所得環境が改善し緩やかな回復基調がみられたものの、米中貿易摩擦や消費税増税の影響などにより、景気の先行きは不透明な状況で推移しました。さらに2020年に入ってから新型コロナウイルス感染症の世界的な拡大による経済活動の停滞が見られる状況となっております。

当社グループにおける事業環境は、繊維事業では上期まではユニフォーム業界の堅調な商いに支えられていましたが、ここに来て需要に翳りがみえ、また百貨店を中心とした衣料品の伸び悩みも依然として続いており、厳しい状況で推移しました。不動産活用事業は、大型商業施設「イオンモール川口」が2018年9月に賃貸借契約を終了した影響から賃貸収入が減少しました。一方、その他の賃貸物件であるイオンモール川口前川や病院施設等からの安定した賃貸収入を維持しており、営業収益の安定化が図られております。

この結果、当連結会計年度の売上高は7,601百万円(前期比9.9%減)となりました。営業利益は716百万円(前期は91百万円の営業損失)となり、経常利益は711百万円(前期は34百万円の経常利益)となりました。親会社株主に帰属する当期純損失は不動産活用事業において固定資産除却損を計上したことから、65百万円(前期は79百万円の同純損失)となりました。

事業別セグメントの概況は次のとおりであります。なお、事業別セグメントの売上高及び営業利益又は損失は、セグメント間の内部取引消去前の金額であります。

#### ① 繊維事業

マテリアル部は、生地販売が衣料品の国内需要の落ち込みにより、また原糸販売が産地の生産調整により需要が減少し、減収減益となりました。

アパレル部は、上期まで順調に推移した法人ユニフォームの直需とスポーツ関連商品の受注が下期は低調となり、減収減益となりました。

カジュアル部は、キャンプ関連商品がアウトドア市場の拡大により需要が増加して増収となり、またメンズカジュアル商品が不採算店舗の撤退を進めたことから費用が減少し、営業損失が縮小しました。

刺繍レースを扱うフロリア㈱は、新規販売先との取引が増加したものの、服地及び付属レースの需要が減少したことから減収となり、営業損失は増加しました。

この結果、繊維事業の売上高は4,422百万円(前期比11.6%減)となり、営業損失は72百万円(前期は41百万円の営業損失)となりました。

#### ② 不動産活用事業

不動産活用事業は、2018年9月に「イオンモール川口」の賃貸借契約が終了したことから、減収となりましたが、前期に実施していた加速償却による多額の費用計上がなくなった影響から増益となりました。「イオンモール川口前川」は、近隣の大型商業施設に比べ「回遊型ショッピング」ができるというお客様の利便性と近隣住民の生活環境にあった専門店選びが評価されており、さらに埼玉県内の医療体制の充実を目的とした病院施設を賃貸することにより不動産活用事業は安定した収益基盤を維持しております。なお、「イオンモール川口」は、2019年9月に解体が完了し、当連結会計年度に解体撤去費用664百万円を特別損失に計上しております。また、未活用不動産であった2箇所新たな建物等を建築し、賃貸を開始しております。さらに、不足している産婦人科を誘致し地域に貢献するとともに安定収益を維持するために「かわぐちレディースクリニック」の賃貸を、2020年4月に開始しました。

この結果、不動産活用事業の売上高は2,258百万円(前期比8.8%減)、営業利益は696百万円(前期は141百万円の営業損失)となりました。

#### ③ ゴルフ練習場事業

埼玉興業㈱が営む「川口・黒浜・騎西の各グリーンゴルフ」練習場のうち、最大規模の川口グリーンゴルフ練習場において、SNSを利用した情報発信やサービスの向上に注力したことにより入場者が増加し、消費税率の引き上げによる影響も少なく増収となりました。また、当期は、前期のような設備更新工事による多額な費用計上がなく、増益となりました。

この結果、ゴルフ練習場事業の売上高は894百万円(前期比2.6%増)、営業利益は80百万円(前期比9.9%増)となりました。

## ④ その他の事業

ディアグリーン課の緑化事業は、観葉植物の新規レンタル契約獲得とギフト品販売の受注増加により増収となり、また経費が削減され営業損失は減少しました。

神根サイボー(株)のインテリア施工事業は、一般住宅施工が増えたことや、大口物件の受注もあり増収増益となりました。

この結果、その他の事業の売上高は571百万円（前期比21.0%増）、営業利益は33百万円（前期比93.0%増）となりました。

## (2) 当期の財政状態の概況

当連結会計年度末の総資産は、前連結会計年度末に比べ1,060百万円増加して27,351百万円となりました。これは主に現金及び預金や投資有価証券が減少したものの、賃貸目的の設備の竣工による建物及び構築物の増加や、新しい大型商業施設等の建設着工に伴う建設仮勘定の増加等によるものであります。

負債は、前連結会計年度末に比べ1,591百万円増加して11,769百万円となりました。これは主に支払手形及び買掛金や流動負債の資産除去債務、1年内返還予定の預り保証金が減少したものの、建設のための資金需要が増した影響で長期借入金が増加したこと等によるものであります。

純資産は、前連結会計年度末に比べ531百万円減少して15,582百万円となりました。これは主に親会社株主に帰属する当期純損失の計上やその他有価証券評価差額金が減少したこと等によるものであります。

## (3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度末における現金及び現金同等物(以下「資金」という)は前連結会計年度末に比べ224百万円減少して1,557百万円となりました。

## (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果、得られた資金は前連結会計年度に比べ46百万円減少して738百万円となりました。これは主に固定資産除却損の計上による増加や売上債権が減少したものの、減価償却費が大幅に減少したことや仕入債務が減少したこと等によるものであります。

## (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果、支出した資金は前連結会計年度に比べ2,864百万円増加して3,443百万円となりました。これは主に投資有価証券の売却による収入が増加したものの、有形固定資産の取得による支出や、固定資産の除却による支出が増加したこと等によるものであります。

## (財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果、得られた資金は前連結会計年度に比べ3,338百万円増加して2,480百万円となりました。これは主に長期借入れによる収入が増加したこと等によるものであります。

## (参考) キャッシュ・フロー関連指標の推移

	2016年3月期	2017年3月期	2018年3月期	2019年3月期	2020年3月期
自己資本比率	50.1%	52.5%	52.2%	53.5%	49.6%
時価ベースの自己資本比率	57.5%	59.7%	59.5%	59.8%	55.5%
キャッシュ・フロー対有利子負債比率	1.6年	2.6年	7.4年	2.4年	6.1年
インタレスト・カバレッジ・レシオ	61.6倍	44.2倍	24.3倍	72.7倍	51.2倍

(注) 自己資本比率 : 自己資本/総資産

時価ベースの自己資本比率 : 株価時価総額/時価ベースの総資産

キャッシュ・フロー対有利子負債比率 : 有利子負債/営業キャッシュ・フロー

インタレスト・カバレッジ・レシオ : 営業キャッシュ・フロー/利払い

※いずれも連結ベースの財務数値により計算しております。

※時価ベースの総資産は、自己資本を時価ベースに置き換えて算出しております。

※キャッシュ・フローは、自己資本を時価ベースに置き換えて算出しております。有利子負債は連結貸借対照表に計上されている負債のうち、借入金を対象としております。また、利払いについては当該有利子負債に係る利息の支払額を使用しております。

#### (4) 今後の見通し

今後の見通しにつきましては、新型コロナウイルスの世界的感染拡大や東京オリンピック開催延期等の諸要因を受け、経済活動の冷え込みが予測されております。さらには米中両国の貿易摩擦の長期化リスクも懸念材料となり、景気の先行きはより不透明感が増しております。

このような状況のもと当社グループは「繊維事業の黒字化」、安定した収益を生み出す「不動産活用事業のさらなる拡充」、当社グループにおける「その他の事業の収益貢献度の向上」を経営課題とし、事業体制の強化と収益力の向上を図ってまいります。

次期の連結業績は、新型コロナウイルス感染症が国内外に拡大し、終息の見通しが不透明ななか、政府による緊急事態宣言の発出を受け、当社グループ従業員の時差出勤や事業拠点の分散化など勤務体制の見直しや国内外の出張停止及び取引先の商談自粛なども広がり、営業活動に影響が出ており当面の売上高の減少が見込まれます。したがって、新型コロナウイルス感染症の終息時期の見通しが立たない状況を踏まえると、業績予想を合理的に算出することが困難であることから、次期の業績予想を「未定」とし、業績予想の開示が可能になった時点で速やかに公表いたします。

## 2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、国内の同業他社との比較可能性を考慮し、当面は、日本基準で連結財務諸表を作成する方針であります。なお、I F R S（国際財務報告基準）の適用につきましては、国内外の諸情勢を考慮の上、適切に対応していく方針であります。

## 3. 連結財務諸表及び主な注記

## (1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当連結会計年度 (2020年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,039,631	1,818,024
受取手形及び売掛金	1,149,892	979,880
有価証券	-	99,990
商品及び製品	1,132,870	1,042,157
仕掛品	10,986	11,961
原材料及び貯蔵品	33,883	32,727
その他	415,082	341,634
貸倒引当金	△2,923	△5,024
流動資産合計	4,779,423	4,321,351
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	19,801,684	20,780,601
減価償却累計額	△11,305,130	△11,302,086
建物及び構築物(純額)	8,496,554	9,478,515
機械装置及び運搬具	66,357	66,034
減価償却累計額	△59,646	△61,448
機械装置及び運搬具(純額)	6,711	4,585
工具、器具及び備品	549,132	534,437
減価償却累計額	△295,943	△335,827
工具、器具及び備品(純額)	253,188	198,609
土地	7,295,223	7,462,378
リース資産	18,044	115,730
減価償却累計額	△12,231	△3,290
リース資産(純額)	5,812	112,439
建設仮勘定	321,608	1,310,212
有形固定資産合計	16,379,100	18,566,742
無形固定資産	33,790	24,425
投資その他の資産		
投資有価証券	4,388,271	3,672,718
繰延税金資産	500,547	516,332
その他	243,541	319,458
貸倒引当金	△34,011	△69,531
投資その他の資産合計	5,098,349	4,438,977
固定資産合計	21,511,240	23,030,144
資産合計	26,290,663	27,351,496

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当連結会計年度 (2020年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	706,647	469,612
短期借入金	50,000	50,000
1年内返済予定の長期借入金	493,684	811,450
未払法人税等	849	12,448
賞与引当金	53,661	53,958
役員賞与引当金	6,350	6,350
資産除去債務	451,141	-
1年内返還予定の預り保証金	507,639	-
その他	272,938	215,906
流動負債合計	2,542,912	1,619,726
固定負債		
長期借入金	1,302,258	3,669,214
役員退職慰労引当金	259,752	252,838
退職給付に係る負債	168,882	184,164
長期預り保証金	5,468,589	5,494,917
資産除去債務	346,394	358,075
その他	88,603	190,412
固定負債合計	7,634,479	10,149,622
負債合計	10,177,392	11,769,349
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,402,000	1,402,000
資本剰余金	871,061	872,299
利益剰余金	11,739,863	11,491,892
自己株式	△494,970	△489,395
株主資本合計	13,517,955	13,276,796
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	618,302	350,782
退職給付に係る調整累計額	△69,266	△66,078
その他の包括利益累計額合計	549,035	284,703
新株予約権	7,335	6,265
非支配株主持分	2,038,945	2,014,381
純資産合計	16,113,271	15,582,147
負債純資産合計	26,290,663	27,351,496



## (2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書

## 連結損益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
売上高	8,438,524	7,601,074
売上原価	7,033,156	5,501,016
売上総利益	1,405,368	2,100,057
販売費及び一般管理費	1,497,064	1,383,761
営業利益又は営業損失(△)	△91,695	716,295
営業外収益		
受取利息	3,769	1,948
受取配当金	77,917	90,324
持分法による投資利益	19,072	2,147
その他	85,914	32,354
営業外収益合計	186,674	126,775
営業外費用		
支払利息	31,346	25,543
有価証券売却損	3,501	16,685
固定資産除却損	12,201	51,017
貸倒引当金繰入額	7,314	27,709
その他	6,329	10,216
営業外費用合計	60,692	131,172
経常利益	34,286	711,898
特別利益		
新株予約権戻入益	-	1,408
特別利益合計	-	1,408
特別損失		
固定資産除却損	50,000	664,610
投資有価証券評価損	10,696	13,015
特別損失合計	60,696	677,626
税金等調整前当期純利益又は税金等調整前当期純損失(△)	△26,410	35,679
法人税、住民税及び事業税	13,200	19,956
法人税等調整額	△6,996	99,719
法人税等合計	6,203	119,676
当期純損失(△)	△32,614	△83,996
非支配株主に帰属する当期純利益又は非支配株主に帰属する当期純損失(△)	46,771	△18,805
親会社株主に帰属する当期純損失(△)	△79,385	△65,190

## 連結包括利益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
当期純損失(△)	△32,614	△83,996
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△132,100	△262,902
持分法適用会社に対する持分相当額	△36,675	△4,455
その他の包括利益合計	△168,776	△267,357
包括利益	△201,390	△351,354
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	△242,617	△329,522
非支配株主に係る包括利益	41,226	△21,831

## (3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	1,402,000	870,956	12,041,071	△496,828	13,817,198
当期変動額					
剰余金の配当			△221,822		△221,822
親会社株主に帰属する当期純損失(△)			△79,385		△79,385
自己株式の処分		105		1,858	1,964
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	-	105	△301,207	1,858	△299,243
当期末残高	1,402,000	871,061	11,739,863	△494,970	13,517,955

	その他の包括利益累計額			新株予約権	非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	退職給付に係る調整累計額	その他の包括利益累計額合計			
当期首残高	750,152	△37,884	712,267	6,595	2,000,450	16,536,512
当期変動額						
剰余金の配当						△221,822
親会社株主に帰属する当期純損失(△)						△79,385
自己株式の処分						1,964
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△131,849	△31,382	△163,231	739	38,494	△123,997
当期変動額合計	△131,849	△31,382	△163,231	739	38,494	△423,240
当期末残高	618,302	△69,266	549,035	7,335	2,038,945	16,113,271

当連結会計年度（自 2019年4月1日 至 2020年3月31日）

（単位：千円）

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	1,402,000	871,061	11,739,863	△494,970	13,517,955
当期変動額					
剰余金の配当			△182,779		△182,779
親会社株主に帰属する当期純損失（△）			△65,190		△65,190
自己株式の処分		1,237		5,574	6,812
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）					
当期変動額合計	-	1,237	△247,970	5,574	△241,158
当期末残高	1,402,000	872,299	11,491,892	△489,395	13,276,796

	その他の包括利益累計額			新株予約権	非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	退職給付に係る調整累計額	その他の包括利益累計額合計			
当期首残高	618,302	△69,266	549,035	7,335	2,038,945	16,113,271
当期変動額						
剰余金の配当						△182,779
親会社株主に帰属する当期純損失（△）						△65,190
自己株式の処分						6,812
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）	△267,520	3,188	△264,331	△1,070	△24,563	△289,965
当期変動額合計	△267,520	3,188	△264,331	△1,070	△24,563	△531,124
当期末残高	350,782	△66,078	284,703	6,265	2,014,381	15,582,147

## (4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前当期純利益又は税金等調整前当期純損失(△)	△26,410	35,679
減価償却費	1,551,801	610,026
貸倒引当金の増減額(△は減少)	10,449	37,621
賞与引当金の増減額(△は減少)	△5,957	296
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	8,551	15,282
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	15,784	△6,914
受取利息及び受取配当金	△81,687	△92,272
支払利息	31,346	25,543
持分法による投資損益(△は益)	△19,072	△2,147
固定資産除却損	62,201	715,627
投資有価証券評価損益(△は益)	10,696	13,015
売上債権の増減額(△は増加)	△188,353	162,434
たな卸資産の増減額(△は増加)	60,065	90,893
仕入債務の増減額(△は減少)	128,942	△237,035
預り保証金の増減額(△は減少)	△634,705	△481,311
その他	△55,774	△295,418
小計	867,875	591,322
利息及び配当金の受取額	82,623	95,000
利息の支払額	△31,346	△25,543
法人税等の支払額	△134,901	77,236
営業活動によるキャッシュ・フロー	784,251	738,015
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有価証券の売却による収入	49,728	-
有形固定資産の取得による支出	△622,968	△2,670,369
固定資産の除却による支出	△202,696	△1,010,702
有形固定資産の売却による収入	1,012	-
投資有価証券の取得による支出	△60,384	△157,609
投資有価証券の売却による収入	101,319	362,450
定期預金の増減額(△は増加)	2,989	△3,210
貸付けによる支出	△700	△1,200
貸付金の回収による収入	5,880	5,390
その他	147,058	31,540
投資活動によるキャッシュ・フロー	△578,762	△3,443,711

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	720,000	580,000
短期借入金の返済による支出	△720,000	△580,000
長期借入れによる収入	-	3,300,000
長期借入金の返済による支出	△536,136	△615,278
配当金の支払額	△221,822	△182,779
非支配株主への配当金の支払額	△2,732	△2,732
ストックオプションの行使による収入	1,848	6,114
その他	△99,106	△24,446
財務活動によるキャッシュ・フロー	△857,948	2,480,877
現金及び現金同等物に係る換算差額	△0	△0
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△652,459	△224,818
現金及び現金同等物の期首残高	2,434,695	1,782,235
現金及び現金同等物の期末残高	1,782,235	1,557,417

## (5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 1. 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、事業本部を基礎とした製品・サービス別セグメントから構成されており、セグメント情報においては、「繊維事業」「不動産活用事業」「ゴルフ練習場事業」を報告セグメントとしております。

「繊維事業」は、繊維品の製造販売を行っており、「不動産活用事業」は、商業施設・その他不動産の賃貸及びビルメンテナンスの運営を行っており、「ゴルフ練習場事業」は、ゴルフ練習場の運営を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、その他の項目の金額の算定方法

セグメント間の内部取引における価格は、外部顧客との取引価格に準じております。

## 3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、その他の項目の金額に関する情報

前連結会計年度(自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計
	繊維	不動産活用	ゴルフ練習場	計		
売上高						
外部顧客への売上高	4,996,889	2,205,633	871,749	8,074,272	364,251	8,438,524
セグメント間の内部 売上高又は振替高	8,400	270,328	44	278,773	108,164	386,937
計	5,005,289	2,475,962	871,793	8,353,045	472,416	8,825,462
セグメント利益又は損失(△)	△41,387	△141,003	73,209	△109,181	17,447	△91,733
セグメント資産	2,286,718	14,070,864	1,947,718	18,305,301	464,591	18,769,893
その他の項目						
減価償却費	11,852	1,461,112	75,626	1,548,591	3,209	1,551,801
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額	1,077	442,781	109,174	553,032	8,335	561,368

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ギフト事業、インテリア施工事業等を含んでおります。

当連結会計年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計
	繊維	不動産活用	ゴルフ練習場	計		
売上高						
外部顧客への売上高	4,413,719	1,987,981	894,530	7,296,231	304,842	7,601,074
セグメント間の内部 売上高又は振替高	8,487	270,326	21	278,834	266,691	545,526
計	4,422,206	2,258,307	894,551	7,575,066	571,534	8,146,600
セグメント利益又は損失(△)	△72,976	696,971	80,456	704,451	33,672	738,124
セグメント資産	2,194,418	15,702,949	2,303,887	20,201,255	444,221	20,645,477
その他の項目						
減価償却費	9,307	494,243	103,615	607,167	2,858	610,026
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額 (注) 2	116,319	2,220,420	456,542	2,793,282	911	2,794,194

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、緑化事業、インテリア施工事業等を含んでおります。

2 有形固定資産及び無形固定資産の増加額には、資産除去債務に対応する除去費用を含めておりません。

## 4. 報告セグメント合計額と連結財務諸表計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

売上高	前連結会計年度	当連結会計年度
報告セグメント計	8,353,045	7,575,066
「その他」の区分の売上高	472,416	571,534
セグメント間取引消去	△386,937	△545,526
連結財務諸表の売上高	8,438,524	7,601,074

(単位:千円)

利益	前連結会計年度	当連結会計年度
報告セグメント計	△109,181	704,451
「その他」の区分の利益	17,447	33,672
セグメント間取引消去	37	△21,828
連結財務諸表の営業利益又は損失(△)	△91,695	716,295

(単位:千円)

資産	前連結会計年度	当連結会計年度
報告セグメント計	18,305,301	20,201,255
「その他」の区分の資産	464,591	444,221
全社資産(注)	7,520,770	6,706,019
連結財務諸表の資産合計	26,290,663	27,351,496

(注) 全社資産は主に余資運用資金(現金及び預金・有価証券)、長期投資資金(投資有価証券)及び管理部門に係る資産等であります。



(単位：千円)

その他の項目	報告セグメント計		その他		調整額(注) 1		連結財務諸表計上額	
	前連結 会計年度	当連結 会計年度	前連結 会計年度	当連結 会計年度	前連結 会計年度	当連結 会計年度	前連結 会計年度	当連結 会計年度
減価償却費	1,548,591	607,167	3,209	2,858	—	—	1,551,801	610,026
有形固定資産及び無 形固定資産の増加額 (注) 2	553,032	2,793,282	8,335	911	96,436	690	657,804	2,794,884

(注) 1 有形固定資産及び無形固定資産の増加額の調整額は、管理部門及び全社に属する設備投資額であります。

2 有形固定資産及び無形固定資産の増加額には、資産除去債務に対応する除去費用を含めておりません。

## 【関連情報】

前連結会計年度(自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)

## 1. 製品及びサービスごとの情報

セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

## 2. 地域ごとの情報

## (1) 売上高

本邦の外部顧客への売上高が連結損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

## (2) 有形固定資産

本邦以外に所在している有形固定資産がないため、該当事項はありません。

## 3. 主要な顧客ごとの情報

(単位：千円)

顧客の名称又は氏名	売上高	関連するセグメント名
イオンモール(株)	1,971,265	繊維、不動産活用及びその他

当連結会計年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

## 1. 製品及びサービスごとの情報

セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

## 2. 地域ごとの情報

## (1) 売上高

本邦の外部顧客への売上高が連結損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

## (2) 有形固定資産

本邦以外に所在している有形固定資産がないため、該当事項はありません。

## 3. 主要な顧客ごとの情報

(単位：千円)

顧客の名称又は氏名	売上高	関連するセグメント名
イオンモール(株)	1,700,037	繊維、不動産活用及びその他
キャンパルジャパン(株)	769,175	繊維及びその他

## 【報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報】

該当事項はありません。

## 【報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報】

該当事項はありません。

## 【報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報】

該当事項はありません。

## (1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
1株当たり純資産額	1,066.65円	1,027.39円
1株当たり当期純損失(△)	△6.02円	△4.94円

(注) 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、希薄化効果を有する潜在株式は存在せず、また、1株当たり当期純損失であるため記載しておりません。

2. 1株当たり当期純損失の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
1株当たり当期純損失(△)		
親会社株主に帰属する当期純損失(△)(千円)	△79,385	△65,190
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する 当期純損失(△)(千円)	△79,385	△65,190
普通株式の期中平均株式数(株)	13,186,185	13,195,977
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり 当期純利益の算定に含めなかった潜在株式の概要	潜在株式の種類と数 2013年から2018年発行分の ストックオプション 新株予約権 2,110個	潜在株式の種類と数 2014年から2019年発行分の ストックオプション 新株予約権 2,140個

3. 1株当たり純資産額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度末 (2019年3月31日)	当連結会計年度末 (2020年3月31日)
純資産の部の合計額(千円)	16,113,271	15,582,147
純資産の部の合計額から控除する金額(千円)		
(うち新株予約権(千円))	(7,335)	(6,265)
(うち非支配株主持分(千円))	(2,038,945)	(2,014,381)
普通株式に係る期末の純資産額(千円)	14,066,991	13,561,500
1株当たり純資産額の算定に用いられた期末の普通株式 の数(株)	13,187,993	13,199,993

## (重要な後発事象)

該当事項はありません。

## 4. その他

## 役員の変動

2020年6月26日開催の当社第97回定時株主総会及び総会後の取締役会並びに監査役会においてご承認いただくことを条件として、役員の変動について内定いたしました。

## (1) 新任取締役候補

取締役 伊藤 素典 (現 繊維事業本部アパレル部長)

## (2) 退任予定取締役

常務取締役 金子 康浩 (現 管理本部長兼社長室長兼内部統制室長)

## (3) 新任監査役候補

常勤監査役 (社外) 村木 徹 (元 りそなビジネスサービス(株)代表取締役社長)

監査役 藤井 孝男 (元 当社専務取締役管理本部長)

## (4) 退任予定監査役

常勤監査役 (社外) 角谷 勝彦

監査役 (社外) 浅子 正明